

有限会社 昭工芸

事業名 新型工作機による木製家具の生産向上と技術継承による人材育成



導入したNCマシン本体+操作盤

新型5軸制御NCマシンの導入により手加工の一部を機械化 若手職人の活躍と生産性向上を実現

事業の背景・目的

当社は昭和37年に木工建具業者として創業。昭和50年代より、デザイン性が求められる商業施設装備品に比重を置き、平成2年に法人化し現在は装備品に付随する仕上工事までを請け負っている。百貨店、専門店、スーパーマーケット、各種ショールーム等の木工装備品をはじめ、学校や行政施設の家具を手掛け、高評価を受けて、納品・施工先は全国に広がっている。しかし慢性的な人材不足と受注量の制限による利益機会の逸失、家具職人の高齢化と高度技術の継承、外注に係るコストとリードタイムの増加の3点が課題であり、この解消をする必要があった。

事業内容

ユニバーサルヘッド5軸制御NCマシンを導入して、手加工の一部を機械化し、非熟練者による高度加工を可能にする。これにより家具職人の高齢化と人材不足に対応し、コストと生産性の飛躍的改善を図る。これまで培ってきた「経験」「知識」が機械化により短時間で形にできるため、幅広い提案による営業活動で主体的アプローチが可能になると見込まれる。

同時に営業・人員体制を見直して生産体制を強化し、中央の展示会等に積極的に出展して商圏の拡大を目指す。



NC操作盤



NCマシン本体(ルーター加工時)

事業の成果

新型コロナウイルスの感染拡大により、商業施設・インバウンドに伴う内装備品やオフィス空間のあり方については当初の計画を見直さざるを得なかった。感染拡大直後は、計画の延期・中止が多発したものの、巣籠もり需要の拡大により日用食品等を扱う店舗においては、新規出店や改装が活発化し受注が増大した。本事業により生産性が飛躍的に伸び、製作期間の短縮・内製化比率の拡大が図られている。従来は製作作業の補佐に留まっていた若年層も、具体的な機械操作を身につけ活躍の場が広がっている。一方で、材料の加工工程においては、熟練の「経験」「知識」が必要であるため、世代間相互に尊重し合い、技術の継承と転換が期待以上に成果をあげている。

今後の展望

生産量に限りがあったために、これまで受注のできなかった分野の製品製作の依頼も増え始めている。提案型の製品については殆どが2次元型の提案であったが、部分的に3次元でサンプルを製作することが可能であるため、木材を加工し展開できる製品等の開発にも力を入れていきたい。

重労働であった作業内容も一部軽減されたことにより、女性の雇用も視野に入れながら人材育成に努めたい。

有限会社 昭工芸

- 代表者：佐藤 勝彦
- 設立年：1990年（平成2年）
- 所在地：山形県山形市桧町1-19-18
- 資本金：300万円
- 従業員：9名
- TEL：023-684-3255
- FAX：023-684-3263
- e-mail：info@shokogei.co.jp
- URL：http://www.shokogei.co.jp



社屋

業務内容

当社は昭和37年に創業の木工特注家具製造業者である。現在はデザイン性が求められる商業施設装備品に比重を置き、その企画から装備品に付随する仕上工事までを請け負っている。こだわりは「カタチ」にしてこそ主張できるものと考え、技術力・技能力・機動力を活かしてお客様のニーズに応えるべく、誠実に向上心を持って精進していく。